

北海道保健福祉部の「農福連携」等の取組について

(北海道保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課)

1. 農福連携とは

農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組である。

2. 農福連携等推進ビジョン (R1.6.4)

国が今年度設置 (H31. 4. 5) した「農福連携等推進会議」(議長：内閣官房長官)において、農福連携の一層の推進を図るため「農福連携等推進ビジョン」が策定され、具体的な取組として、①認知度の向上、②取組の促進、③取組の輪の拡大の3つのアクションが掲げられた。

また、3つのアクションに加え、農福連携における「農」と「福」の広がりを推進するため、「農」への広がりとして、林業や水産業における「林福連携」「水福連携」の取組を推進し、「福」への広がりとして、生活困窮者、引きこもりなどの就労・社会参画の機会確保が挙げられている。

3. 北海道保健福祉部のこれまでの取組内容

(1) 福祉と地域産業の連携の取組

北海道保健福祉部では、障がいのある方の幅広い職種における多様な就労の場を創出するため、平成26年度から平成30年度まで第一次産業や障がい者雇用率の低い業種を対象に、モデル事業の構築や職域開拓に取り組んできた。

【参考】対象業種 (15分野)

H26	H27	H28	H29	H30
<ul style="list-style-type: none"> 農業 【農福連携】	<ul style="list-style-type: none"> 観光業 商業 工業 	<ul style="list-style-type: none"> 水産業 【水福連携】 <ul style="list-style-type: none"> 情報通信業 サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> 建設業 金融、保険業 教育、学習支援業 複合サービス事業 	<ul style="list-style-type: none"> 林業 【林福連携】 <ul style="list-style-type: none"> 鉱業、採石業、砂利採取業 不動産業、物品賃貸業 学術研究、専門技術サービス業

のうふくれんけいとう とりくみ
 (2) 農福連携等の取組

実施年度	対象業種	事業名	事業内容
H26	のうぎょう 農業	しょうがいしゃしゅうのう 障がい者就農ビジネス人材 いっせいじぎょう 育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携シンポジウム（札幌市） ・農福連携地域ネットワーク構築（全道5地域） ・農福連携事例集作成
H27	のうぎょう 農業 りんぎょう （林業／ すいさんぎょう 水産業）	たよう 多様なしごとづくり事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携地域マッチング（小清水町） ・農福連携地域勉強会（今金町） ・地域産業障がい者雇用セミナー（札幌市、北見市） ・地場産業就労事例集作成（林業・水産業含む）
H28	すいさんぎょう 水産業	しょうがいしゃしゅうろう 障がい者就労の多様な産業 そうしゅつじぎょう 創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・水福連携地域検討会（北後志地域）
H29	のうぎょう 農業	のうふくれんけいそくしんじぎょう 農福連携促進事業 しょうがいしゃ 障がい者の多様な社会参加 そくしんじぎょう 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携マルシェ（札幌市） ・農福連携セミナー（札幌市） ・農福連携地域ネットワーク構築（北見市）
H30	のうぎょう 農業／ りんぎょう 林業	のうふくれんけいそくしんじぎょう 農福連携促進事業 しょうがいしゃ 障がい者の多様な社会参加 そくしんじぎょう 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携マルシェ（旭川市） ・ミニマルシェ（14振興局） ・ノウフクマルシェフェスティバル（札幌市） ・全国マルシェへの出品（岐阜県） ・農福連携セミナー（旭川市） ・農福連携意識調査（全道：道社協に委託） ・林福連携地域座談会（ニセコ町） ・林福連携セミナー（札幌市） ・国への提言（農福連携全国都道府県ネットワーク）
R1 (H31)	のうぎょう 農業／ すいさんぎょう 水産業	のうふくれんけいそくしんじぎょう 農福連携促進事業 じばさんぎょうしょう 地場産業障がい者就労促進 じぎょう 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・農福連携マルシェ（帯広市、室蘭市、留萌市） ・ミニマルシェ（14振興局） ・ノウフクマルシェフェスティバル（札幌市） ・ノウフクマルシェ商談会（札幌市） ・農福連携マッチング（全道：施設外就労） ・水福連携マッチング（全道：正社員雇用） →重点地域：宗谷、オホーツク ・成果報告会（農福連携／水福連携） ・国への提言（農福連携全国都道府県ネットワーク）

4. 令和元年度（2019年度）北海道保健福祉部の農福連携等の取組

(1) 農福連携促進事業

ア 事業目的

障がいのある方の工賃向上を図るため、障がい福祉サービス事業所の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催する。

イ 委託先

「農福連携促進事業委託業務」受託コンソーシアム

ウ 予定事業

- ①農福連携マルシェ（帯広市、室蘭市、留萌市）
- ②ミニマルシェ（14振興局）
- ③ノウフクマルシェフェスティバル（札幌チカホ）
- ④ノウフクマルシェ商談会（札幌市民交流プラザ）
- ⑤農福連携マッチング支援（農業生産者と障がい者就労施設等の施設外就労のマッチング）
→ JA選果場（全道）、新規就農者（伊達市）
- ⑥成果報告会（開催地未定） ほか



(2) 地場産業 障がい者就労促進事業（地域活性化雇用創造プロジェクト）

ア 事業目的

水産連携など福祉と地場産業との連携を促進し、人手不足が深刻な地域の水産加工業をはじめとした地場産業において障がい者の就労を促進する。

イ 委託先

「地場産業 障がい者就労促進事業委託業務」受託コンソーシアム

ウ 予定事業

- ①水産加工業における障がい者の正社員雇用のマッチング支援
→ 支援対象地域は全道。
重点支援地域として、今年度は、ホタテガイの漁獲量の回復が見込まれるオホーツク海沿岸地域の宗谷・オホーツク管内で重点的に実施する。
- ②障がい者の就労継続支援のための相談サポート
- ③成果報告会（予定：網走市、紋別市、苫小牧市）



（ホタテの殻剥き作業）

(3) その他（農福連携等に関する取組）

① 障がい者就労支援推進事業

→ 道障がい者条例に基づく指定法人（北海道社会福祉協議会）による販路確保、市場調査、商品開発など（道南地域において農福連携事業を実施予定）

② ほっかいどうナイスハートフェア in アリオ札幌

→ 道と(株)イトーヨーカ堂との包括連携協定に基づく授産製品の販売イベント

③ 障がい者就労カフェ事業

→ 夏期に赤れんが庁舎前庭で障がい者の就労訓練等を目的とした屋外カフェを実施（振興局 = 地域障がい者就労カフェ（通称））

④ 障がい者が製造する授産弁当の購入協力

⑤ パネル展（道民ホール）を活用した授産製品販売会 ほか



(H30農福連携マルシェ in 旭川)



(ノウクマルシェフェスティバル in チカホ)



(ミニマルシェ in 赤れんが)



(ナイスハートバザール in アリオ)

【参考】

1. 障がい者就農ビジネス人材育成事業（平成26年度）

(1) 事業概要

障がい者の新たな就労の場として、地域連携により福祉と農業を結び付け、障がい者雇用創出のビジネスモデルの構築が可能な人材の育成を図るとともに、地域モデルを構築することを目的とする。



（菌床椎茸の収穫作業：農福連携事例集）

(2) 農福連携に関する取り組み

プロジェクト名	中心となる団体／所在地	取組概要
1 農業と福祉の拠点づくりプロジェクト	NPO法人 サトニクラス ／月形町	月形町の農家や福祉事業者がそれぞれ行ってきた農業と福祉に関する取り組みをネットワーク化し、「農福連携」の拠点づくりに取り組んだ。 → 「つきがた農福交流推進協議会」を設立し、農福連携プロジェクトを推進した。国（農林水産省）の交付金事業を活用し、直売所を設置。
2 JAが中心となった「農福連携」の場づくりプロジェクト	JAこしみず ／小清水町	小清水町内外の障がい者や福祉関係者に「農福連携」による新しい働き方を提案し、事業所の開設を視野に「農福連携」の体制づくりを目指した。 → 障がい者の就労事例が少ない大規模畑作地域における農福連携の実践事例を調査し、地域の連携体制の構築を進めた。
3 地元農家と連携した6次産業化による「農福連携」の拡大プロジェクト	(株)Giggles (ギグルス) ／名寄市	福祉事業者と農家がネットワークを組むことで、6次産業化を柱とした「農福連携」事業の拡大を目指した。 → 農作物の少量生産や通年加工の実施のため、地元の協力農家や福祉関係者と連携し、6次産業化を推進した。
4 障がい者が安心して暮らすことのできる集落づくりプロジェクト	ひまわり後援会 ／幕別町	農業生産法人とグループホームを連携して運営することで、重度障がい者が地域で生活するための「住まい」と「働く場」がある集落づくりを目指した。 → 農業生産法人の設立を支援し、農福連携の体制づくりを行った。
5 道南地域における農福連携掘りおこしプロジェクト	地域の農業者・福祉事業者 ／道南地域	道南地域の農業者や福祉事業者を対象に、農業者の障がい者理解・福祉事業者の農業理解の促進を目的としたシンポジウムを開催し、農福連携への理解を広げた。 → シンポジウムを開催。参加者が中心となって「道南農福連携ネットワーク」を発足させ、定期的な情報交換会や見学会などを実施。

★この事業で作成された「農福連携事例集」は、道のホームページ
（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/shuroupe-ji.htm>）で公表しています。

2. 多様なしごとづくり事業（平成27年度）

(1) 事業概要

農福連携事例などを基本的に福祉と異業種間の交流を進めることで担い手不足などの地場産業を掘り起こし、業界関係者に対して障がい者雇用の理解促進を図る。（障がい者就労モデル構築、事例集作成など）



（玉ねぎの選果作業：農福連携事例集）

(2) 農福連携に関する取り組み

事業名	取組地域 ／ 業種	取組概要
大規模畑作地域における 通年での障がい者の 就労の場づくり	小清水町 ／ 農業	<p>【農福連携地域マッチング】</p> <p>町とJAが連携し、農作業と選果場作業を組み合わせることで通年の就労の場づくりを目指す取り組み。農業現場での就労事例の視察や、近隣市町村の障がい者就労支援事業所の利用者による選果場作業の実習を行った。</p> <p>→ JAこしみず選果場で障がい者によるニンジン選果作業とブロッコリーの選果・箱詰め作業などを実施した。これらの取組は「小清水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の農業担い手対策の一つとして位置付け。</p>
今金町における 商工業・農業関係者に よる障がい者雇用に 関する勉強会	今金町 ／ 農業	<p>【農福連携地域勉強会】</p> <p>養護学校の生徒が仕事を持ちながら、今金町に定住することを目的に、企業・福祉・農業が連携して障がい者雇用の勉強会を実施し、地域の活力を維持するために、地域が抱える課題の洗い出しと解決の方向性を検討した。</p>
注目が集まる『農福連携』 の農業と障がい者就労 の取り組みと可能性	北見市 ／ 農業	<p>【地域産業の発展に向けた障がい者雇用セミナー】</p> <p>オホーツク管内の農業関係者と、障がいのある方の職域拡大を目指す福祉事業者が同じテーブルを囲み、障がい者雇用に関して双方が抱えている課題を共有して解決の方向性を探る研修会を実施した。</p>

★この事業で作成された「障がい者の地場産業での就労事例集」は、道のホームページ（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/shf/shuuroupe-ji.htm>）で公表しています。

3. 障がい者就労の多様な産業創出事業（平成28年度）

(1) 事業概要

障がいがあっても、いきいきと働くことのできる地域社会を実現するため、障がいのある方の幅広い職種における職場を確保するための福祉と地域産業の連携モデルを構築する。（多様な産業への障がい者就労モデルの構築）

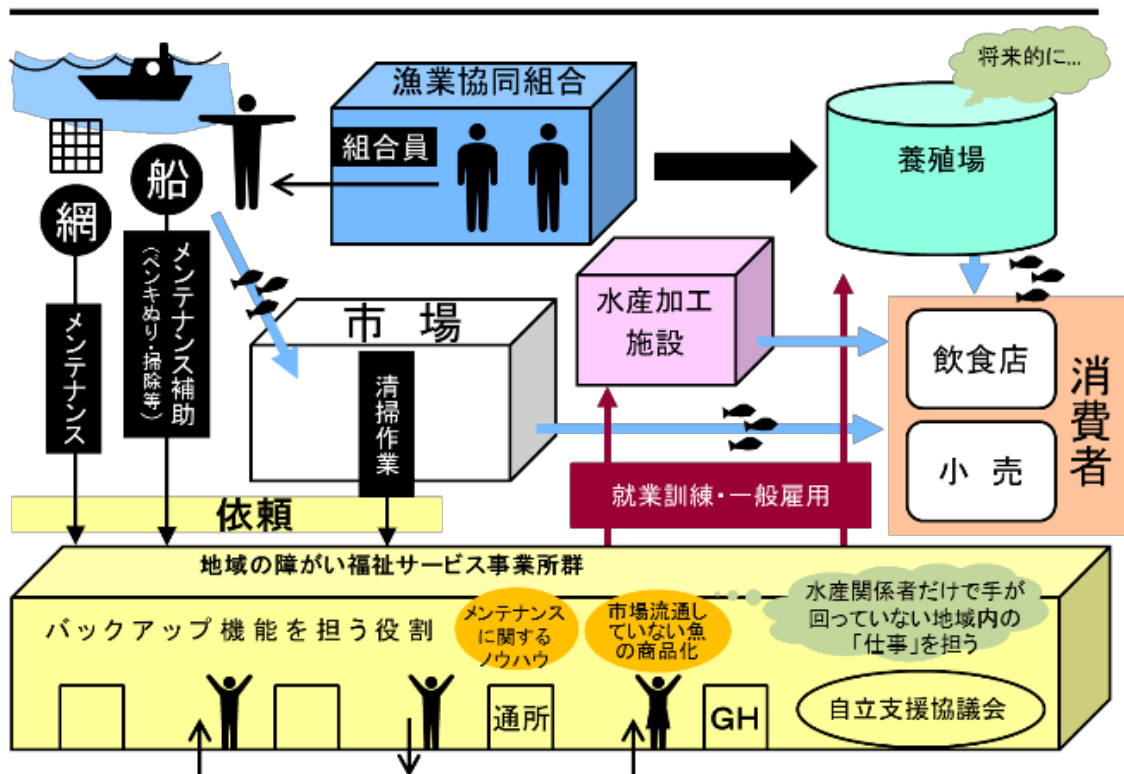


（水産加工業：障がい者就労事例集）

(2) 水福連携に関する取り組み

プロジェクト名	取組地域／業種	取組概要
1 水産業 水産業における障がい者就労の可能性	北後志地域 (余市町、積丹町、小平町、小樽市)／水産業	水産業における障がい者就労のために、水産分野の仕事内容の洗い出し、水産分野が抱える課題等を整理し、その中で障がい者が担える可能性がある仕事について検討した。福祉関係者と水産関係者が連携し、水産業での障がい者就労の仕組みづくりを目指した。 → モデル地域での意見交換や検討を踏まえ、「水福連携」の可能性として、北海道における漁業と福祉の連携イメージを構築した。

北海道における漁業と福祉の連携イメージ(目指す姿)



4. 障がい者の多様な社会参加促進事業（平成29、30年度）

(1) 事業概要

障がいがあっても、いきいきと働くことのできる地域社会を実現するため、障がいのある方の幅広い職種における職場を確保するための連携に対する支援を行う。（障がい者職域開拓コーディネーターの派遣による職域開拓、職場定着支援）



（製材業：障がい者就労事例集）

(2) 農福連携・林福連携に関する取り組み

事業名	所在地 ／企業・団体	取組概要
<p>地域での農福連携の導入支援 （平成29年度）</p>	<p>北見市 ／JAきたみらい</p>	<p>労働力確保対策の一環として、「農福連携」に関心があったため、JAと地域の福祉事業所とのネットワークを構築し、JA組合員が農福連携を実践するコーディネート支援を行った。</p> <p>→ 取組成果として、JAと福祉事業所とのネットワークを構築し、JAと福祉関係者の接点を作ることができた。農福連携の取組を通して「作業の切り分け」の視点をJA側が得ることができた。</p>
<p>地域での林福連携の導入支援 （平成30年度）</p>	<p>ニセコ町 ／合同会社 Hikobayu</p>	<p>林地残材の活用のため、地域の福祉事業所と連携を考えた林業事業者に対して、コーディネート支援を行った。</p> <p>→ 林業における障がい者の就労促進のため、自立支援協議会「就労支援部会」との座談会を実施し、林業と地域の福祉事業所との連携体制を構築した。</p>
<p>林福連携セミナー （平成30年度）</p>	<p>札幌市</p>	<p>林業と福祉の連携により障がいのある方の新たな就労の場を創出する「林福連携」をテーマとした「障がい者就労事例セミナー」を開催した。</p> <p>→ 「林福連携」に先進的に取り組む大分県竹田市の（有）堀木材の志賀取締役と「障がい者サポートセンターやまなみ」の本田氏や大分県庁の担当者を講師に「林福連携」の取組等について紹介した。</p>

5. 農福連携促進事業

(1) 事業概要

障がいのある方の工賃向上を図るため、障がい福祉サービス事業所の農業への参入を支援するとともに、農業に取り組む事業所による販売イベント等を開催する。

- ① 農福連携マルシェの開催
- ② 農業分野における障がい者就労セミナーの開催
- ③ その他

(2) 農福連携による障害者の就農促進プロジェクト【厚生労働省（工賃向上計画支援等事業特別事業）】

- ① 農業に関する十分なノウハウを有していない障害者就労施設等に対し、農業の専門家の派遣等による農業技術の指導・助言
- ② 農業の専門家の派遣等による6次産業化への取組支援
- ③ 農業に取り組む障害者就労施設等による農福連携マルシェの開催支援
- ④ 農業に取り組んでいる障害者就労施設等の好事例を収集し、他の障害者就労施設等で共有するなどの意識啓発等
- ⑤ 農業生産者と障害者就労施設等による施設外就労とのマッチング支援

(3) 取組内容

事業内容	開催地	開催概要
1 農福連携マルシェ (平成29年度)	札幌市	日時：平成29年9月15日（金）～17日（日） 場所：札幌駅前通り地下歩行空間（通称チカホ）
2 農業分野における障がい者就労セミナー（平成29年度）	札幌市	日時：平成29年11月9日（木）13:00～16:00 場所：京王プラザホテル札幌 3階 雅の間
3 農福連携マルシェ (平成30年度)	旭川市	日時：平成30年9月22日（土）、23日（日） 場所：旭川アッシュアトリウム 1Fフロア（旭川市1条通7丁目43番地Ahiビル）
4 農業分野における障がい者就労セミナー（平成30年度）	旭川市	日時：平成30年11月8日（木）13:00～17:00 場所：旭川市国際会議場（旭川市神楽3条7丁目）
5 ノウフクマルシェフェスティバル (平成30年度)	札幌市	日時：平成30年11月19日（月）～21日（水） 場所：札幌駅前通り地下歩行空間（通称チカホ）北3条広場西
6 ミニマルシェ (平成30年度)	各振興局	①道庁赤れんが庁舎前庭「北のめぐみ愛食フェア」会場内で実施（H30.7.17～22） ②イトーヨーカドーアリオ札幌店の障がい者授産製品販売イベント「ナイスハートバザール」会場内で実施（H30.10.2～4）他
7 農福連携意識調査 (平成30年度)	全道	名称：農業における障がい福祉事業所との連携に関する調査 対象：①各市町村行政（農林水産部局、保健福祉部局） ②ホクレン（各本所・支所・支店） ③北海道農業協同組合（各JA） ④障がい福祉サービス事業所（全サービス事業所）

6. 農福連携全国都道府県ネットワークの取組

(1) 農福連携全国都道府県ネットワークの概要

- ア 設立年月日
平成29年7月12日
- イ 加盟都道府県
47都道府県（設立時40道府県）
- ウ 役員
会長 鈴木英敬（三重県知事）
副会長 阿部守一（長野県知事）
副会長 古田肇（岐阜県知事）
副会長 西脇隆俊（京都府知事）
副会長 平井伸治（鳥取県知事）
副会長 丸山達也（島根県知事）



（農福連携全国都道府県ネットワーク）

- エ 事務局
三重県農林水産部担い手支援課
（北海道 [担当窓口]：保健福祉部福祉局 障がい者保健福祉課）

- オ 活動目的
農福連携の定着とさらなる発展に向け、都道府県が連携し、全国的な気運醸成や環境づくりを進める。

(2) 取組内容（平成30年度～）

取組内容	実施日／場所	実施内容
1 国への提言	平成30年5月11日 東京都	<p>【提言内容】</p> <p>① 農業や福祉、教育の関係者をはじめ、企業経営者等に対する農福連携の促進に向けた意識啓発の実施</p> <p>② 農業と障がい者をつなぐ支援体制の整備に対する支援</p> <p>(1) ワンストップ支援窓口の整備・運営に対する支援</p> <p>(2) 農業経営体と障がい者を結びつけるコーディネーター人材の育成と活動支援</p> <p>③ 農業分野への就労を促進する農業版ジョブコーチの育成と活動支援</p> <p>④ 障がい者の農業に係る職業教育プログラムの構築に向けた支援</p> <p>(1) 特別支援学校における農業に係る職業教育の充実に向けた支援</p> <p>(2) 農業への就労に対する保護者や教育関係者等の理解促進に向けた取組への支援</p> <p>⑤ 農福連携を促進する事業制度の拡充および継続</p> <p>⑥ 「ノウフク・ブランド」の知名度向上に向けた国内外への情報発信</p>

とりくみないよう 取組内容	じっしび ばしょ 実施日／場所	じっしないう 実施内容
2 アピール宣言	れいわがねん がつ 令和元年7月23日 とやまけん とやまし 富山県富山市	<p>【宣言内容】農福連携加速化宣言2019</p> <p>①ノウフクJAS等のノウフク商品の発信などを通して、社会における農福連携の認知度向上に取り組みます。</p> <p>②農林水産業と福祉の現場をつなぐ、農林水産業版ジョブコーチや作業受委託を進めるコーディネーターの育成に取り組みます。</p> <p>③障がい者にとどまらず、働きづらさや生きづらさを感している者を含めた農福連携の取組について、事例の調査・研究を進めます。</p>
3 ノウフクマルシェ	へいせい ねん がつ 平成30年10月 27～28日 ぎふけん ぎふし 岐阜県岐阜市	<p>ノウフクマルシェ in 岐阜県農業フェスティバル</p> <p>主催者：岐阜県と農福連携全国都道府県ネットワークの共同企画</p> <p>→ 北海道参加（2事業者）</p> <p>主催者の代理販売（商品完売）、出店無料</p> <p>参加数：18道県</p>
	へいせい ねん がつ 平成30年12月 8～9日 とうきやうとちゆうおうく 東京都中央区	<p>太陽のマルシェ×ノウフクマルシェ</p> <p>主催者：太陽のマルシェ実行委員会</p> <p>（農福連携全国都道府県ネットワークから案内）</p> <p>→ 参加数：9都県</p>
	へいせい ねん がつ 平成31年1月 12～13日 きやうとしみなみく 京都市南区	<p>第2回ノウフク新春大感謝市（イオンモール京都桂川）</p> <p>主催者：京都府</p> <p>（農福連携全国都道府県ネットワークから案内）</p> <p>→ 参加数：6府県</p>
4 意見交換会・ 現地調査	へいせい ねん がつ 平成30年11月 12～13日 ながのけん まつもとし 長野県松本市	<p>・全体会議、意見交換会</p> <p>・現地調査（JA松本・カゴメ野菜生活ファーム(株)）</p> <p>→ 道は共同資料作成に協力</p>



(ノウフクマルシェ in 岐阜県農業フェスティバル)